

図書館だより 2月号

2023年2月2日発行

大田区立志茂田中学校図書館 読書学習司書



春はすぐそこに。

早いもので、今年も1か月が過ぎました。2月3日は節分、翌日の2月4日は立春です。立春は、暦の上で春が始まる日とされています。まだまだ寒い日が続きますが、夕暮れの日差しの明るさに季節の移り変わりを感じることができるでしょう。

今月は学年末考査があります。学校図書館には定期考査の過去問題を置いてありますので、ぜひ活用してください。



2月の学校図書館

月	火	水	木	金
		2月1日 休館	2月2日 開館	2月3日 開館
2月6日 開館	2月7日 開館	2月8日 休館	2月9日 開館	2月10日 開館
2月13日 開館	2月14日 開館	2月15日 休館	2月16日 開館	2月17日 開館
2月20日 開館	2月21日 開館	2月22日 休館	2月23日 天皇誕生日 休館	2月24日 学年末考査 休館
2月27日 学年末考査 休館	2月28日 学年末考査 開館			



<開館日>

月・火・木・金
(水曜は休館)

<開館時間>

10時30分~17時

<貸出冊数と期間>

1人3冊まで、2週間貸出。



裏面も見てね。

今年度の最終貸出は3月2日(木)です

今年度最終の貸出は3月2日(木)、返却期限は3月16日(木)となります。3月3日(金)からは、本の返却・閲覧・自習のみ利用できます。

春休み中は学校図書館整理期間の為、本の貸出は行いません。読みたい本がある人は、今のうちにどんどん借りておきましょう。

返却期限を守りましょう

返却期限の過ぎている本が手元にある人は、必ず返却してください。

学校図書館が閉まっている時は、図書館入り口の「返却図書BOX」を利用してください。

紛失等で返却できない場合は、担任の先生、または読書学習司書まで連絡してください。

図書館の本はみんなの本です。きまりを守って、気持ちよく学校図書館を使いましょう



今月の お話給食

「お話給食」とは、物語に出てくる料理を食べながら、本の世界を楽しむ給食です。

今月は、2月28日(火)です。

紹介する本 : 『給食室のいちにち』

大塚 菜生/作 イシヤマ アズサ/絵
少年写真新聞社

給食のメニュー: 「キーマカレー」

お楽しみに!



※考査期間中は、最終日以外は休館。

新着図書紹介



新しい本が入りました。特におすすめの4冊を紹介します。
ほかにもたくさんの本があります。
ぜひ「新着図書コーナー」に来てください！

『この星で生きる理由 一過去は新しく、未来はなつかしく』

佐治晴夫／著 KTC 中央出版(分類 914)

「人間の体は星のカケラ、もっと詳しくいうと数十兆個の細胞が集まってできている。つまり、『あなた』はあなた以外の物からできている。では、あなたはどこに存在するのか。」(本書より)
物理や数学、宇宙、詩など多様な書籍を執筆してきた著者が、87年間の人生で得た知見と、日々の思いを編み込んだショートエッセイ。どのページから読んでも著者の優しい言葉が心を落ち着かせてくれる。



『桃太郎は盗人なのか？』

倉持よつば／著 新日本出版社(分類 388)

著者が小学5年生の時に「図書館を使った調べる学習コンクール」で文部科学大臣賞を受賞した作品を単行本化したもの。日本人なら誰もが知っている昔話「桃太郎」。このあらすじに疑問を持ち、桃太郎盗人説の真偽を確かめるべく、全国の桃太郎を読み比べ。そして、桃太郎の話が時代によって異なることを発見。どのように物語が変化していったのか、江戸時代の文献にまでさかのぼり、各時代の桃太郎像をあぶり出していく。疑問を解決するために200冊以上の文献を読破した、その探求心に感服。



『13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海』

田中 孝幸／著 東洋経済新報社(分類 312)

高校生と中学生の兄妹は、アンティークショップのウインドに飾られている地球儀を見ていると店主から声をかけられた。その風貌から“カイゾク”と呼ばれている店主は兄妹に「地球儀を使った7日間の講義を受けて、最後のテストに合格すると、ただで地球儀をあげる」と言う。三人の会話を通して、「地政学」を楽しくわかりやすく学ぶことができる一冊。



『にゃんこ四字熟語辞典』

西川清史／著 飛鳥新社(分類 814)

世界中から集めた可愛い猫の写真に、四字熟語でツッコミが入れられている。にゃんこを見てほっこりするうちに四字熟語が身について、賢くなれる写真集！
一笑千金、大胆不敵、一心不乱、無我夢中……。どこかで耳にしたことがある四字熟語も、可愛いにゃんこ写真と組み合わせれば、漢字の羅列が、何ともユーモラスに見えてくる。

